研究課題名	ヒト腎生検組織糸球体の電子顕微鏡 3D 微細構造モデル構築による検討
研究期間	実施許可日　～　2026 年　3 月　31 日
研究の対象	許可日～2022 年 3 月 31 日の間に本院腎臓内科に入院し、腎生検にて慢性腎炎症候群と診断された患者さん
研究の目的・方法	研究目的：慢性腎炎症候群は腎糸球体基底膜に何らかの異常が生じ、尿中へ多量の尿蛋白が漏出することを病態とし、全身の浮腫により日常生活が困難となる、または末期腎不全に至り、腎代替療法を要することがある疾患群です。診断は主に腎生検によって行われ、臨床所見や身体所見を元に、腎生検によって得られた組織の光学顕微鏡所見・免疫蛍光抗体法所見・電子顕微鏡所見を総合して診断を行う事が一般的です。しかし片側 100 万個に至る糸球体のごく一部を採取し、観察を行う腎生検組織の一般的な検討のみでは、確定診断に至らない症例も少なからず存在します。尿蛋白の漏出機構は糸球体の基底膜の障害が大きく関与しており、同部位を詳細に観察し得れば、病態の解明や治療法への応用などが期待できます。本研究によって糸球体の 3D 微細構造モデル作製を行う事により、これまで不詳とされてきた慢性腎炎症候群・ネフローゼ症候群の仔細な病因やメカニズムの解明が期待されるため、この研究を計画しました。 研究の方法：本研究は、広島大学病院腎臓内科で腎生検を実施された患者さんの、検査時に作製した電子顕微鏡用グルタルアルデヒド固定された切片の残余を用います。この化学固定された組織のブロックを、2 次元的に電子顕微鏡で観察を行い、その後得られた連続走査電子顕微鏡画像用いて 3D 再構築・解析を行い、3D 微細構情報を得ます。また診療録（カルテ）情報（検査値・病理所見等）も併せて調査します。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
研究に用いる試料・情報の種類	診療録（年齢・性別・病歴・検査値・病理所見等）
外部への試料・情報の提供	共同研究機関への情報提供は、パスワード設定された記憶媒体を送付またはメールにて行います。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2018 年 7 月 24 日）以降
個人情報の保護	試料・情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理し、学外へ提供することはありません。

研究組織	本学の研究責任者（研究代表者） 　広島大学病院　腎臓内科学　教授　正木　崇生 研究機関の長 　広島大学理事　田中純子 共同研究機関 国立研究開発法人理化学研究所生命機能科学研究センター先端バイオイメージング研究チーム 研究責任者：渡邉　朋信
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3 Ｔｅｌ：082-257-1506 広島大学病院腎臓内科 教授　正木　崇生（研究責任者） 広島大学病院腎臓病地域医療学講座 寄附講座教授　　土井　俊樹（研究担当者） 広島大学病院腎臓内科 病院診療講師　　前岡　侑二郎　（研究担当者）